

新火葬場候補地評価の方法案

項目名	重要度	視点	評価				採点				合計点			
			ため池	開墾地	松坂	笠原	ため池	開墾地	松坂	笠原	ため池	開墾地	松坂	笠原
1. 候補地の位置等の現況	(30%)	各候補地の現況について客観的に比較する												
(1) 市中心部（多治見駅）からの距離と所要時間		幹線道路を利用したアクセスのしやすさ等について												
(2) アクセス道路の状況		住民負担の観点から生活道路を経由しないことが前提 狭隘や急な勾配がなく、定刻性が見込まれるアクセスが望ましい												
(3) 日照、騒音、通風、自然環境等の状況		火葬場としてふさわしい静寂感、環境が望ましい			※1	※2								
(4) インフラ整備状況		電気、水道、下水道等のインフラが整備されているか												
2. 火葬場が周辺環境に与える影響	(20%)	以下について検証する												
(1) 環境へ及ぼす影響		日照、騒音、通風、自然環境等において及ぼす状況												
(2) 景観へ与える影響		景観に影響する程度（可視的な人工物の大きさ等）。従来の火葬場のイメージを払拭し、文化的な施設の外観を呈するよう配慮することで、景観への影響を小さくすることが前提												
(3) 周辺道路へ及ぼす影響		交通渋滞等へ及ぼす影響。（最大で1日100台程度と想定、また、火葬場の利用は、通常朝夕ラッシュ時は少ないことが前提）												
(4) 河川への影響		排水（雨水、汚水）が及ぼす影響。（火葬自体からは排水は発生しない）												
3. 建設コスト（単位：千円）	(30%)	候補地の現況と関連するが、以下の項目について全体的に判断する												
(1) 土地取得経費		土地取得経費の多寡												
(2) 造成経費（場内道路、調整池、擁壁含む）		造成経費の多寡（接続道路、景観配慮含む）												
(3) 防災施設経費（周辺部）		防災施設経費の多寡												
(4) 環境アセス・文化財等調査経費		文化財、貴重種の保存等のアセス対策事項の多寡												
(5) 追加インフラ対策経費		場内道路等のインフラ不足分の追加経費												
(6) その他必要経費		旧ごみ焼却施設解体費など												
4. 住民の理解	(20%)	住民同意は要しないが、都計審等の手続きがあり住民理解は重要												
(1) 最寄の民家からの見通しの程度		民家からの距離と見通しの程度												
(2) 住民理解に要する時間		報告会や寄せられた意見等												
(3) 土地取得に係る時間		土地取得手続き等に要する期間												
			※3	※4		※5								

注1 評価における前提条件

- ①用地取得は可能とする
- ②法規制は全てクリアー
- ③自主アセスでの不可能項目なし
- ④建設費はどの候補地も同一

- ※1 生コン事業者隣接あり
- ※2 現在廃棄物処理施設
- ※3 ため池廃止手続き
- ※4 可児市地権者の理解
- ※5 境界確定等

合計

注2 評価の点

評価数字
 ◎ %
 ○ %
 △ %
 × %